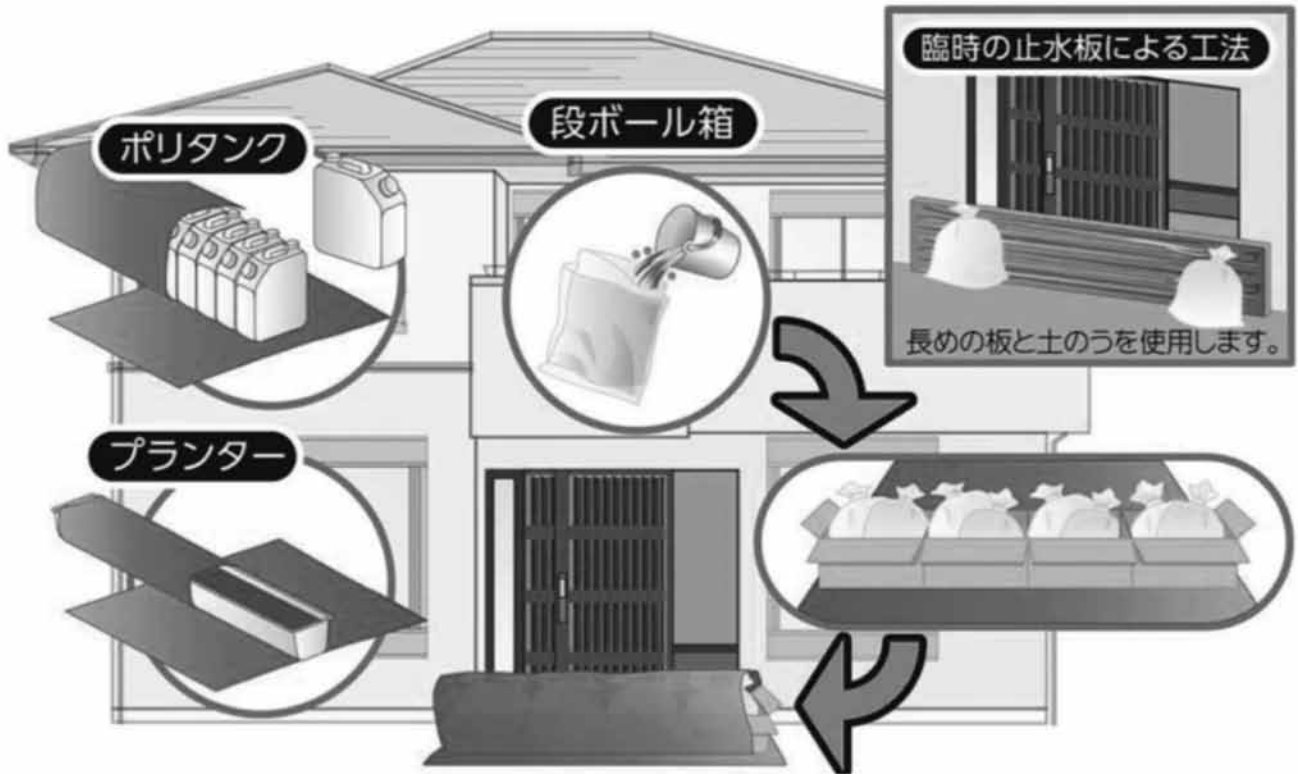


家庭でできる水防（簡易水防工法）

軽微な浸水の時簡易水防工法で身近なものを使い水の浸入を防ぐことができます。これらの作業は危険が迫り避難が必要となるまでに行いましょう。

水のう

45リットル程度のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れ密封したもの。必要に応じて、レジヤシートやブルーシートで巻き込んで使います。そのほかに水の入ったポリタンク（灯油等の油の入ったものは万一、流出すると危険ですので使わないでください）、プランターをシートで巻き込んで使います。



国土交通省 中部地方整備局
水防技術研修テキストより引用

土砂災害への注意

昨年のような集中豪雨や長雨で地盤がゆるむと、土砂災害が発生しやすくなります。ハザードマップの確認や、大雨の際の町からの避難情報に注意しましょう。

ハザードマップの確認については、総務課（82-1111）へお問い合わせください。また、下記の土砂災害の前兆（前兆現象）のような異変を感じたら、すぐに周囲の人に知らせ、安全な場所へ避難しましょう。



土砂災害の前兆現象等

- 川の流れがにごり、流木が混じりはじめる
- 雨は降り続けているのに、川の水位が下がる
- 山鳴りがする
- 沢や井戸の水がにごる
- 斜面から水が噴き出す
- がけから小石がバラバラと落ちてくる、地割れ、割れ目が見える 等

～消防団からのお願い～

夏休み、お盆を控えて町外からの帰省や川遊びで消防用道路等に駐車する車両が見られます。緊急時に備えて消火栓、防火水槽、消防用水利付近への駐車は控えてください。

